

公正な採用選考システムの確立に向けて

採用選考における適切な質問内容の例

- 面接時の質問内容については、公正な採用選考を実施するために、面接担当者全員で事前打ち合わせを行うなど十分検討しておくことが必要です。

《適切な質問例》

	項目	評価項目	質問例
導入部		(応募者の緊張感をほぐすため 答えやすい質問から始める)	<ul style="list-style-type: none"> ・お待たせしました。どうぞお掛けください。 ・〇〇さんですね。 ・待っている間、どんな気分でしたか。 ・筆記試験は難しかったですか。
本 質 問	・会社に対する関心	<ul style="list-style-type: none"> ・質問内容の理解力と回答内容的確さ、簡潔な表現力 ・志望の動機や仕事に対する考え方、責任感を通じて、その自主性(意欲) ・当社に対する理解度・知識を通じてその理解力・適応力 	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の第一印象はどうでしたか。 ・当者に対して、どんなイメージを持っていますか。 ・当社への志望の動機を教えてください。 ・どんな仕事をしてみたいですか。それは何故ですか。 ・仕事の中で困難な状況に直面した時、あなたならどうしますか。 ・初対面の人と話をすることが苦になりませんか。 ・受験に際して、多少当社のことを調べてみましたか。 ・当社がどんな製品を造っているか知っていますか。
	・学校に関する関心	<ul style="list-style-type: none"> ・質問内容の理解力と回答内容的確さ、簡潔な表現力 ・学校生活を通じて、その自主性(意欲)、協調性 	<ul style="list-style-type: none"> ・好き(得意)な学科はなんですか。何故その学科が好き(得意)なのですか。 ・学生生活で一生懸命したことは何ですか。 ・クラブ活動、生徒会活動、学校行事などの中で、あなたは何かしていましたか。 ・学校生活で一番印象に残ったことや思い出などありませんか。
	・自己PRに関する事柄	<ul style="list-style-type: none"> ・質問内容の理解力と回答内容的確さ、簡潔な表現力 ・自己の特徴、特技などのPRを通して、その知識や実行力 ・趣味などを通しての実行力 	<ul style="list-style-type: none"> ・あなたの長所はどういうところですか。 ・何か特技・資格がありますか。 (趣味・取得時期なども質問する) ・何か趣味を持っていますか。 ・何かスポーツをしていますか。
情報交換	<ul style="list-style-type: none"> (従事する職務内容や労働条件などを説明し、本人の意志の強さを判断する) (専門的職業や技能工の採用選考の場合は、その職務についての専門的な質問をする) 		<ul style="list-style-type: none"> ・1か月に〇時間位残業がありますが、よろしいですか。 ・県内、県外へ転勤することがありますが、よろしいですか。 ・交替勤務で時間が不規則になりますが、大丈夫ですか。 ・もし採用になったら、交通機関は何を利用しますか。 ・当社には寮がありません(〇〇町にあります)が、どうしますか。 ・仕事は立って(座って)することが多くなりますが、大丈夫ですか。 ・こちらからお尋ねすることは以上ですが、何か質問はありませんか。 ・入社した場合、何か希望、条件などありますか。
結び		(最後に、応募者の労をねぎらう言葉をかけ、面接の終了を知らせる)	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ聞かせて頂き、ありがとうございました。それではこれで終わります。 ・採否結果は、〇〇日頃までに連絡します。

公正な採用選考システムの確立に向けて

採用選考における不適切な質問内容の例

●面接を受ける側は普段より緊張しているものです。できるだけ普段のその人を出せるように、緊張を和らげるような雰囲気を作ることが大切です。試験場内外ともに、下記に配慮して、気軽に話し合える雰囲気作りを心がけましょう。

※「受験者の人格を十分尊重するように配慮すること」

※「受験者に心理的動揺や、精神的負担を与えるような言動は絶対にしないこと」

《不適切な質問例》

不適切である理由	不適切な質問例
「本籍など」 ・同和関係者に対する就職差別につながります。 ・本籍地について聞くことは身元調査につながります。	・あなたの本籍はどこですか。 ・あなたの出身地はどこですか。 ・何故、本籍と現住所が違うのですか。 ・生まれてからずっと現住所ですか。 ・自宅付近の略図を書いてください。 ・〇〇町のどの辺りですか。
「家族の職業、収入、地位など」 ・部落差別によって教育や就職の機会均等の権利を侵害されてきた同和関係者や、恵まれない家庭、母子・父子家庭の人に対する就職差別につながります。	・あなたの家庭の職業はなんですか。 ・ あなたの家族の勤務先は、また役割は。 ・あなたの家族や親せきで、〇〇関係にお勤めの方はいますか。 ・あなたの家族の収入はどれ位ですか。 ・あなたの御両親の学歴は。 ・あなたの学費は誰が出しましたか。
「家族の資産」 ・貧困な家庭の人に対する就職差別につながります。	・あなたのうちの耕作面積はどれ位ですか。 ・住んでいる家や土地は持ち家ですか、借家ですか。 ・あなたのうちの不動産(田畑、山林、土地)はどれ位ありますか。
「住宅環境、家庭環境」 ・貧困な家庭や、母子・父子家庭の人に対する就職差別につながります。 ・居住地域の生活水準についても、答えにくい人がいるかもしれません。	・あなたの家は団地ですか。 ・あなたの家は何部屋ありますか。 ・あなたの地域は下水道が整備されていますか。 ・あなたの家庭の雰囲気は。 ・ お父さん(お母さん)がいないようですが、どうしたのですか。 ・別居しているのですか。 ・お父さん(お母さん)の死因は何ですか。 ・転校の経験はありますか。
「思想、信条、宗教など」 ・思想、信条、宗教、支持政党、人生観などは、憲法で保障された個人の自由権に属する事柄です。それを採用選考に持ち込むことは基本的人権を侵すこととなります。	・労働組合をどう思いますか。 ・学生運動をどう思いますか。 ・学校外での加入団体を教えてください。 ・ どんな本を愛読していますか。 ・あなたの家では何新聞を読んでいますか。 ・ あなたの信条としている言葉は何ですか。 ・あなたは自分の生き方についてどう考えていますか。 ・将来、どんな人になりたいと思いますか。 ・あなたの家の宗教は何ですか。 ・あなたの家族は何を信じていますか。 ・あなたは、神や仏を信じる方ですか。 ・あなたの家に仏壇はありますか。 ・ 尊敬する人物を教えてください。 ・学校の先生の中に尊敬する人はいますか。 ・あなたは今の社会をどう思いますか。 ・あなたの家族は何党を支持していますか。 ・選挙に行きましたか、選挙で支持する政党は。